

石田巡查部長の快書を 各學校が団体で參觀

場内は壽司詰めの盛況
▽……餘興の寫眞數番

既報昨夜から聚樂館に封切
りした石田巡查部長の活動
寫眞は平人士の非常なる期
待を受けて居た事として流石
に廣い場内も觀客を以て埋
むの盛況を呈したが

教育上

にも齎らす
効果が極めて多いと云ふの
で各學校よりの団体參觀多
く本日午後一時からは磐城
高等女學校を始め藤田裁縫
女學校、祐賢學舎、平第二
小學校、好間尋常小學校の
各生徒が教員に引率されて
觀覽し、明日は、磐城中學
校、平商業、平第一校、平
窪校、應崎産婆看護婦會、
清野同校、十八日には平陽
實科女學校及び

平附近

小學校生徒
の入場に依つて賑ひを呈す
る筈であるが上場寫眞は石
田巡查部長の外に余興とし
て實寫及び喜劇『チビとハ
ム』泰西映畫『彼女の復讐』
外に時代劇等ある由

鮫川の水路 復活を計劃

石城郡鮫川村では鮫川疏水
が失敗に歸して以來其のま
ゝとなつて居たが過般の早
魃で灌溉水に困つた處から
同郡小名濱町に灌溉水路と
用水池設備を計劃し昨日齊
藤區長外廿餘名の連署で之
れが認可を申請した

石城行政監視

水野
石城郡長は廿四五の兩日川
前村、廿六、七の兩日田人
組合村、來月一、二の兩日
窪田村の行政監視に出張す
る由。

積込夫が 電柱を握り

作業中に即死
石城郡好間村大字上好間字
小館居住新瀉縣生れ古河炭

子供の賣物

新聞廣告が大分盛んにな
りました、奇抜な事なら
何んでも好むは米國人の
癖ですが是れは又飛び離
れた珍らしい新聞廣告を
出した人があります「子
供賣出し頗る美碧眼、健
康にして血統正しく價二千
圓也」所が其廣告に對し
て忽ち四百人の申込があ
つたそうですが廣告主は
紐育の一畫家で二千圓の
借金を返す爲に可愛娘さ
んを手離す事にしたのだ
つたそうです
(在京新妻生投)

惨死した
内郷助役再選 石城
郡内郷村助役大越久治氏は
去る十日の村會にて満場一
致再選され認可申請中。

恐ろしい茸の中毒

美しいのは概して危険
▽……大森醫學士語る
秋の料理には最もふさはし
い茸が出はじめた事は既報
の通りだが茸は美味である
だけ中毒を起し易く笑ひ
茸といつてとめどなく笑ひ
つゞける愛嬌なものであるが
中毒の大部分はもたえ苦し
み途には一命に關する事も
少なくない右につき大森醫
學士は語る「はへどり茸、
てんぐ茸、つきよ茸などは
必らず中毒を起すが其他に
も危険なものが澤山あるか
ら注意せねばならぬ簡單な
鑑定方法は極めて美しいも
のと眞直に割れぬものは危
険だが一體に名の知れぬも
のは喰つてはならぬ、中毒
すると直ぐ神経系統を胃し
めまい、さむけ、頭痛、嘔
吐等の症状を起し中には昏
睡状態に陥り心臓を胃す場
合もある素人療法としては

自轉車で 線路を疾走

流車にひかる
石城郡内郷村大字綴字町の
内山口甚六方店員宮城縣生
れ小關惣治郎(三)は去る十
三日午後三時頃十五夜に供
へる萩や萱を取らんが爲め
自轉車に乗り好間専用鐵道
を通行中汽車が後方より汽
笛を鳴らして幕進し来るに
氣付かず、尙ほも線路を疾
走し傍らにて作業中なりし
線路工夫が大聲にて注意し
たる爲め避けんとせる際機
關車に跳ね飛ばされ頭部を



蚊張のしまい方

もうそろそろ蚊張を藏ふ時
が來ました、麻布は濕氣を
含みやすきもよですからお
家の庭

出炭制限 撤

近く其協議を
内地炭礦業者は財界反轉炭
界不況の對策として去る二
十五日以來送炭の制限を
行つて來たが人為的の制限
策など到底大勢を左右する
力なく、炭界依然として不
振繼續するに於ては右の如
き制限協定等待つまでも
なく各炭礦業者は自發的に
採炭を制限するの状況とな
り、一方かゝる制限協定の
ある事が兎角世間の誤解を
招くの虞あると云ふので來
月十日大連で開かれる評議
員總會で制限撤廢を議する
事となつた由

平町人事

▲婚姻
△田町 高萩秀雄(二)
茨城縣多賀郡南中郷村關根芳
江(二一)
△二丁目 關内米太郎(二五)
石城郡夏井村篠崎シノ(二〇〇)
▲死亡
△一丁目 田中藤太郎(二五)

讀者割引券

十五日より晝夜四日間
聚樂館にて上映
警察 石田部長
此券持參の常磐毎日新聞
讀者に限り特に木戸廿錢

蓮の花に登る

溜池に投身
石城郡内郷村大字宮字峯根
磐城炭礦坑夫新瀉縣生れ桃
井運太郎(三)は數日前から
俺は近く蓮の花の上に登る
んだと異様な言を發しつゝ
あつたが去る十四日午前十
時頃磐城炭礦の溜池に投身
自殺し平署七海部長檢視

不平受付

投書歡迎
時間過ぎの三味線 近頃
平町の料理店で十二時過ぎ
まで三味をひいたり、騒い
だり、殊に南町あたりの道
路を大聲で俗歌を歌つて歩
く者があります(古麻里生)

藤細工の手下

藤細工や柳細工の汚れたと
きは、ブラシでよく塵を拂
ひ、脱脂綿に酢をつけて拭
くと綺麗になります、磨き
終つたら湯水を使はずにそ
のまま陰干にしておきます
あまり汚れたのは澁を萬遍
なく塗りますと感心のいゝ
新らしい品が出來上る

常磐片々

平町南裡の新道路は二ヶ所
より外屈折しないものと思
ひの外末だ有る、未だ有る
長橋町から新道に貫通する
地點が約一間の食ひ違ひ
國道に遠慮した處をお目止
めあつて御覽じろ……
曲つて伸びる尺取虫の眞似
とあきらめねばならぬのそ
うな
町民はあきらめても地主が
聞かぬ、マター一囃しは御容

謝か

アークたびれた……
曲りなりにも何んとかケリ
を付けて貰ひ度い

平署に 出居る人

若 家出人の數
は年々増加
して行くば
かりである
が一日に平
署に出入り
する者が多
い

其以前に

家出した者
を搜索する
のが多く其
の他

の原因は駈落ちではれには
若い娘に多い、主婦には夫
の外に情人が出來て失踪す
るもの即ち痴情及び夫婦の
争ひ舅姑と不和を原因とす
る者が大部分で男ならば中
年の人は出稼ぎ失敗貧苦撈
帯者でやはり
經濟上の 影響や責任
を受けて居る結果で、若い
者は親子の争ひや悪友に誘
はれて、家出する者が多い
一休男女を問はず年若な者
は只ふら〜と何ものにか
憧れて家出の原因をよび
起すか、中年の男女には
駈落ちに しても何ん
にしても必ず生活が背影に
なつて居る